



## 春を呼ぶ都井岬野焼き

# 974

都井御崎牧組合の皆さんの手により続けられている、冬の風物詩の一つである野焼き。一時期、野焼きなどの保護活動が途絶えたこともありましたが、昭和40年代に徐々に再開され始めました。この写真が撮られたのは昭和49年。この年の御崎馬の頭数は60頭と、現在に比べるとまだまだ少ない頭数だったようです。～昭和49年3月発行・広報くしまから～



白煙に包まれる小松ヶ丘



My Town Topics

# まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

## 被災者の安全と安心を確保



2月20日、災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定調印式が市役所にて開かれました。福祉避難所とは高齢者や障がい者など、避難の際に特別な配慮が必要な方の受け入れが可能な施設のことです。今回、バリアフリー化などの支援環境の整っている望洋の郷、寿楽園、あすか園、さつき園、ゆうゆうの森、長寿の里の6施設が串間市と協定を結びました。



INTERVIEW

### 避難の一助に

特別養護老人ホーム  
ゆうゆうの森 理事長

鴻野サチ子さん

福祉施設は入所者への介護など、福祉避難所としての力を持っています。現在も台風などが発生したとき受け入れていますので、経験も充実しています。緊急時の避難先の確保はとても重要です。できるかぎり協力していきたいですね。

Scene 5

## 畜産復興に向け子牛初せり



2月9、10日の2日間にかけて、南那珂地区で今年初めてとなる子牛のせり市が南那珂家畜市場で開催されました。口蹄疫による人工授精の自粛の影響のため、子牛の頭数が減少。出荷数の低下が心配されましたが、畜産農家による早期出荷の協力により672頭の子牛を出荷。早期出荷の価格への影響が懸念されましたが、平均価格は42万円と、前回のせり市と同程度の価格でした。



INTERVIEW

### 畜産をしたい

北方・羽ヶ瀬地区

岩下信也くん

高鍋農業高校に通っていますが、せり市のときは学校の許可をもらい、手伝いのため帰ってきています。今回は14頭を出しましたが、早期出荷の割によい体格に育っていました。価格も少し高い気がします。将来は親の仕事を継ぐ予定です。

Scene 4

## もしものときに備えて訓練



2月6日、旧吉松家住宅で防火訓練が行われました。この訓練は文化財への防災意識を高めることを目的とした1月26日の「文化財防火デー」に合わせて毎年実施されています。教育委員会や消防署の職員、旧吉松家住宅を支える会の皆さんなど15人が訓練に参加。避難経路確認のほか、収蔵されている文化財を運び出す作業や消火器による火元の鎮火を訓練しました。



INTERVIEW

### 心構えが大事

旧吉松家住宅を支える会

神戸悦子さん

毎年、防火訓練に参加しています。今回は消火器を使った消火担当だったのでとても緊張しました。何度も手順を確認しながら消火器を操作しました。このような訓練を繰り返し実践することで、心構えを養っていくことが一番大事ですね。

Scene 3

## 一環教育の取り組みを紹介



2月3日、北方中学校で小中高一貫教育推進研究発表大会が開かれました。市内外から約160人の小中学校の先生が参加。北方小と秋山小の5・6年生が北方中に登校し、1日を過ごす「オークランドデイ」が公開されました。また「知っちょる？ 串間の特産品」というテーマで、北方中の1年生によるくしま学の劇が行われ、焼酎の製造過程などが紹介されました。



INTERVIEW

### 英語が楽しい

北方小学校5年生

加藤暉也くん  
とお友だち

英語を使ってかたをしたり、お昼ご飯の注文をしたりする授業を体験しました。英語で注文するのが難しかったけど、楽しかったです。先生方が授業を見学していましたが、あまり緊張しませんでした。また英語の授業を体験してみたいです。

Scene 2

## 救急救命に新たな力を導入



1月31日、ドクターヘリの研修会が福祉保健センターで行われました。4月1日から宮崎県で始まるドクターヘリの運用に向けて、消防署や市民病院のスタッフなど80人が参加。千葉県で5年間、ドクターヘリによる救急に携わった宮崎大学医学部の金丸勝弘助教授は「すばやい救命治療により今まで救えなかった命を助けることができる」と効果を話していました。



INTERVIEW

### 救命率向上へ

串間市消防署

上鑑明彦さん

市内でも大きな出血を伴う事故が、過去発生しているため、ドクターヘリの導入は大きな助けになります。消防署も患者の容体を的確に把握するための研修を実施しています。ドクターヘリと連携し、一人でも多くの方を救っていきたくです。

Scene 1

## 強盗事件に備えた実践訓練



1月31日、ファミリーマート串間ゆうゆうの森店で強盗などに備えた防犯訓練が行われました。これは防犯協会と串間警察署が共同で主催し、ファミリーマートの協力によって実施されたものです。今回は2人組による強盗事件を想定し、事件の発生から通報、警察官による現場確認と聞き取りまでを訓練。約30人の参加者の皆さんは真剣な表情で訓練に臨んでいました。



INTERVIEW

### 緊張した訓練

ファミリーマート串間  
ゆうゆうの森店員

河野加須美さん

強盗が起きたときのレジ担当として初めて訓練に参加しました。事前に何度も手順を確認しましたが、訓練が始まると、緊張して考えた通りに行動できませんでした。今日の訓練の経験を普段の業務の中でも気をつけておくことが大事ですね。